

パブリックコメント 実施結果 No.1

西郷村新庁舎基本設計について、村民の皆様からご意見をお聞きするパブリックコメントを実施しました。頂いたご意見と村の考え方を2回に分けて掲載いたします。なお、村のホームページには全て掲載しておりますのでご覧ください。ご意見いただき誠にありがとうございました。

パブリックコメント掲載URL <https://www.vill.nishigo.fukushima.jp/soshiki/kyotenseibishitsu/kyotenseibi/2/3364.html>



1 ラウンジについて

【意見】

より多くの住民が利用しやすい環境づくりが重要かと思えますので、ラウンジ等については終業後(17時)以降、土日祝日も含めて利用可能にして欲しいです。

【村の考え方】

(仮称)村民ラウンジ、(仮称)はつらつホール、会議室、多目的広場は、閉庁時も利用可能なエリアとして計画しております。

イベントの開催や交流の場など、にぎわいを創出する場として、多くの住民の方に利用していただきたいと考えております。

なお、運用方法等については、村民ワークショップ等の意見等を踏まえながら検討してまいります。

2 ガラス柵等の利用について

【意見】

建物自体の耐震性は確保されているが、ガラス柵・壁等について地震発生時破損する可能性はないですか。また、防災拠点として室内建具等についても危険リスクを排除した計画となっておりますか。

【村の考え方】

ガラスについては採光、見通しや安全確保の観点から必要な箇所に設置計画しております。

地震発生時の変位に配慮した寸法設計、飛散防止フィルムを採用することにより、リスクの可能性を極力軽減する計画としております。

3 天井材料(木毛セメント板)について

【意見】

セメント系(灰色)を使用した場合、室内が冷たい雰囲気になりやすいので、暖かな空間を演出して欲しいです。

【村の考え方】

内観計画において、経済的かつ木のぬくもりが感じられる空間とするため、天井に木板ルーバー(県産材)と木毛セメント板(屋根の野地板兼用)の併用を計画しております。木質化を図り温かみのある空間形成を図っていきたいと考えております。

4 屋根構造について

【意見】

曲線構造は見栄えが良いが、建設コストが掛かると思われます。曲線にする利点等があるのですか。

また、防災拠点として、ソーラパネルを多く取り入れ蓄

電設備を設け有事時に対応出来る設備も必要ではないでしょうか。

【村の考え方】

1階平面計画において、窓口は南側駐車場からと(仮称)村民ラウンジの両方からアクセスが良好なL字型の配置としております。また、窓口は無柱で計画することで、見通しが良く、将来の変化にも対応しやすい執務空間としております。

このため、執務棟については屋根の傾斜(高低差)を活かした半剛性吊り屋根とすることで、L字型の執務室に対して鋼材量を抑えながら無柱で計画でき、外壁のコストを抑え断熱性能が高く、屋根の形態を活かした自然採光や自然通風に有利な建築・構造計画が合理的な屋根形状としております。

BCP計画においては、大規模災害等の発生時に災害応急対策の拠点として、村役場機能を継続維持するため、備蓄重油を利用した非常用発電設備にて必要な電力を確保する計画でございます。国の指針に基づき、3日間以上の燃料備蓄を計画しております。

太陽光発電については、環境配慮計画に記載がございますとおり、年間約1780時間の豊富な日照時間を活かし積極的に活用する計画としております。

太陽光パネルの設置数や蓄電設備等については導入費用が高額なため、ライフサイクルコストの比較検討や今後さらに技術革新が進むことも考えられますので将来的な導入も見据え、最適な設備を導入したいと考えております。

5 使用木材について

【意見】

木のぬくもりを感じるインテリアと称していますが、村産材木を多く利用して欲しい。

【村の考え方】

環境配慮計画に記載がございますとおり、木のぬくもりを感じるインテリアを計画しております。

村、県産木材を庁舎の内装材に使用し、温かみのある空間形成を図っていきたいと考えております。

6 環境配慮について

【意見】

エアサイクルが考えられた空調で、光熱費が抑えられていると思いますが、合わせて運用後のコスト低減を見える化出来れば良いと思います。

【村の考え方】

BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を採用し、エネルギーの使用状況や設備機器の稼働状況を管理し、省エネやCO²削減を図る計画でございます。

西郷村 新庁舎建設

TOPIC トピック

Vol.
05
特別号

発行:西郷村拠点整備室 TEL.0248-21-5191 / 発行日:令和4年1月13日

\ 新庁舎の基本設計が完了しました! /

このたび、新庁舎の建物の配置や構造、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備などをまとめた基本設計が完了しましたので、概要をお知らせします。



南側外観イメージ(歩行者アプローチ)

01 西郷村新庁舎建設検討委員会からの報告

村民の代表や学識経験者など13人で構成される西郷村新庁舎建設検討委員会は、「西郷村新庁舎基本設計」について令和2年12月から5回の審議を重ね、その結果をまとめた報告書を村長に提出しました。報告書には、12項目の意見が添えられました。



【報告書を村長へ提出】



【第5回新庁舎建設検討委員会】

これまでの経過と今後のスケジュール

平成
28
年度

- ・拠点づくりに関する村民アンケート調査を実施
- ・村民ワークショップ(検討委員会)開催
- ・西郷村拠点づくりプロジェクト計画策定委員会開催
行政機能を集約した総合庁舎として建替える方針を決定する

平成
29
年度

- ・西郷村「生涯安心して暮らせるための拠点づくりプロジェクト計画」におけるにぎわい・元気を創出するエリアとして「まると西郷館」を整備する

平成
30
年度

- ・西郷村拠点づくりプロジェクト基本計画(新庁舎基本計画)に着手する
- ・西郷村公共施設等総合管理計画個別計画の基本方針に建替えを位置づける

令和
元年度

- ・現庁舎の課題等に関する村民アンケート調査を実施
- ・西郷村拠点づくりプロジェクト基本計画策定委員会の開催
- ・村民ワークショップの開催
- ・西郷村議会改革検討特別委員会の開催
- ・西郷村総合振興審議会の開催

令和
2
年度

- ・西郷村議会改革検討特別委員会より基本計画に関する提言書が提出される
- ・西郷村総合振興審議会より基本計画の策定について答申される
- ・西郷村「拠点づくり」プロジェクト基本計画を策定
- ・西郷村新庁舎基本設計・実施設計に着手
- ・西郷村新庁舎建設検討委員会の開催

令和
3
年度

- ・西郷村新庁舎建設村民ワークショップの開催
- ・西郷村新庁舎建設検討委員会より報告書が提出される
- ・**西郷村新庁舎基本設計完了** **現在**
基本計画に基づき、新庁舎の構造や配置や設備レイアウト、デザインなどを定める

令和
4
年度

- ・**西郷村新庁舎実施設計完了**
- ・新庁舎建設工事に着手

令和
5・6
年度

- ・新庁舎第1期工事竣工
- ・西郷村改善センター解体

令和7年度

- ・新庁舎第2期工事竣工

令和
8
年度

- ・新庁舎からの引っ越し
- ・**新庁舎供用開始**
- ・現庁舎の解体工事、外構工事に着手
- ・すべての工事が完了



西郷村イメージキャラクター「ニシヨウ」

※事業スケジュールは現時点でのものであり、今後設計を進めていく中で変更が生じる場合があります。

計画概要

延床面積：約6,000㎡
建築面積：約4,000㎡
建築用途：事務所(庁舎)
建ぺい率：約25%
容積率：約17%
耐火性能：準耐火建築物
構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造(耐震構造)
基礎種別：直接基礎
規模：地上2階
駐車台数：約330台



保健センターエリア

住民健診や子育て支援を行うスペース。フロアの貸し出しも可能。

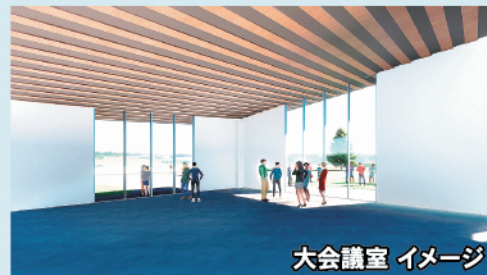
(仮称)村民ラウンジ



(仮称)村民ラウンジイメージ

村民の交流の場や情報発信の場として拠り所となるスペース。

会議室エリア



大会議室 イメージ

会議室は西側に配置し、村民への貸出や多目的広場と一体的な利用も可能。



西側外観イメージ(文化センターからのアプローチ)

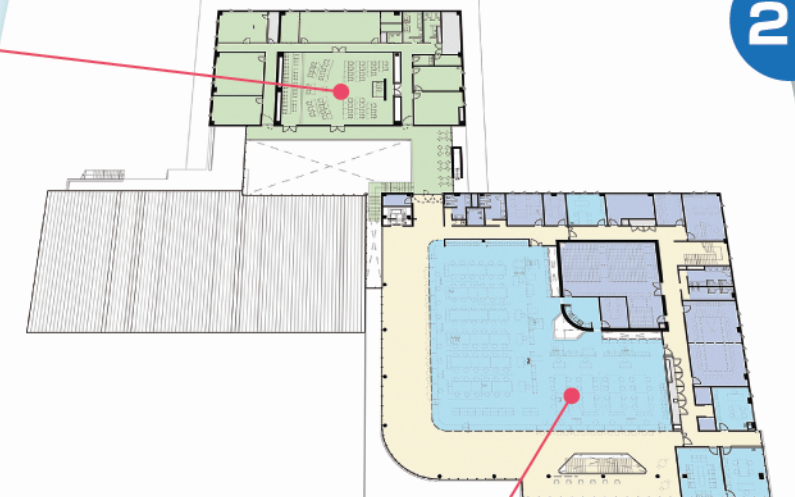


南側外観イメージ



議会機能エリア

議会のシンボル性を保ちつつ、多くの村民が身近に感じられる空間。



2F

1F

執務エリア



2F執務エリア イメージ

柱の無い見通しが良く、将来の変化に対応した空間。

※記載の内容は、今後実施設計段階で変更される場合があります。